

研究機関:広島大学

研究課題名	早期胃癌を対象とした臨床病理学的特徴についての検討
研究責任者名	広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中信治
研究期間	2018年6月28日(倫理委員会承認後)～2025年12月31日
対象者	1995年1月1日～2021年12月31日までに、当院で早期胃癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術(endoscopic submucosal resection; ESD、または外科手術を行った患者
意義・目的	早期胃癌の内視鏡所見や病理所見、患者背景などについて解析を行う事で、胃癌の危険因子についての理解が深まり、より安全な治療が行えると考えられます。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は性別、年齢、部位、最大腫瘍径、肉眼型、内視鏡所見、治療日、治療方法、偶発症です。病理プレパラートから使用する内容は組織型、進達度などです。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 内視鏡診療科診療准教授 氏名 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5537 広島大学病院消化器・代謝内科 クリニカルスタッフ 玉理太覚